

# インフォメーション・コーナー

## 会 告

○公益社団法人農業農村工学会第50回定時総会の報告	60
○農業農村工学会代議員選挙結果について	61
○平成29年度名誉会員の推挙について	61
○研究部会長の交代について	61
○平成30年度農業農村工学会賞候補の推薦について(再) 締切 10月31日	61
○第41回「水の週間」水のワークショップ・展示会について(第2報) 8月15~17日開催	62
○「2050年農業・農村の姿」ポスターの募集期間を7月31日まで延長します 募集締切7月31日	63
○サマーセミナー2017参加者募集!(第2報) 参加申込締切 7月31日	63
○平成29年度「戦略的研究申請支援」の助成希望者募集について(再) 申請締切 9月15日	63
○「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い	64
○学生会員入会時の特典について	64
○学会誌掲載報文等によるCPD通信教育の参加者募集!!	65
○平成30年の学会誌表紙写真の募集 夏季締切 9月30日	65
○「水土の知(農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております!	66
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2016年7月から2018年6月までの編集事務局について	67
○平成29年度東北支部総会・第59回東北支部研究発表会ならびに第49回東北支部研修会・ 第39回地方講習会の開催について(第1報) 発表申込締切 9月25日	68
○第68回関東支部大会(講演会・講習会等)の開催について 講演申込締切 8月4日	68
○第72回中国四国支部講演会ならびに第41回地方講習会の開催について(第3報) 講演原稿・参加申込締切 9月8日	70
○平成29年度九州沖縄支部大会(第98回講演会・講習会・シンポジウム・現地見学会) の開催について(第2報) 講演申込締切 8月23日	71
○農村計画研究部会第39回現地研修集会の開催について(第1報) 参加申込締切 9月1日	73
○平成29年度腐食鋼板技術講習会の開催について(第1報) 参加申込締切 10月31日	73
農業農村工学会論文集内容紹介	74
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」内容紹介	75
農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム(一般参加可)一覽	79
受入れ図書	80
文献目録	80
学会記事	83

### 第85巻第8号予定

展望：農業農村工学分野へのご招待：森井俊廣

小特集：“農業農村工学”って何だろう？

- ▷報文：進化する農業農村工学：山本徳司
- ▷報文：農業農村工学の研究—課題と求められる挑戦—：渡邊紹裕
- ▷報文：行政における農業農村工学の技術：山岸雄一
- ▷報文：建設業における農業農村工学の技術：清水洋一
- ▷報文：ものづくり最前線—ゼネコンの使命と魅力—：清水穂高ほか
- ▷報文：コンサルタンの農業農村工学技術：松浦正一
- ▷報文：地方公共団体における農業農村工学技術者の役割：内山芳彦ほか

### 技術レポート

- 北海道支部：別海地域における肥培灌漑施設の防食工法の検証：渡邊一浩ほか
- 東北支部：栗駒ダムにおける堆砂対策の事例：道合 卓
- 京都支部：新川河口排水機場主ポンプにおける犠牲陽極のモニタリング：阿部義宣ほか
- 中国四国支部：現況堤体土のセメントによる改良盛土工法：森岡順一ほか
- 九州沖縄支部：畑地灌漑施設を利用したお茶の防霜対策：小野貴史

## 農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。ふるって参加下さるよう、お待ちしております。

Ⓟのマークは、技術者継続教育機構の認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号	
平成29年8月15～17日	農業用水展示実行委員会	第41回「水の週間」水のワークショップ・展示会	いのち育む農業用水	東京都	85巻6,7号	
平成29年8月29日～9月1日	大会運営委員会	平成29年度大会講演会	Ⓟ	藤沢市	84巻12号 85巻1,4号	
平成29年8月31日～9月2日	農業農村工学サマーセミナー実行委員会	サマーセミナー2017	都市型農業を通してこれからの農業、農業農村工学を考えたよう(仮)	神奈川県内(予定)	85巻5,7号	
平成29年9月19日	農村計画研究部会	第39回現地研修集会	Ⓟ	都市圏農業基盤の保全と活用 横浜市ほか	85巻7号	
平成29年10月25,26日	京都支部	第74回研究発表会	Ⓟ	—	金沢市	85巻4,6号
平成29年10月26,27日	中国四国支部	第72回支部講演会・第41回地方講習会	Ⓟ	—	徳島市	85巻5,6,7号
平成29年11月1,2日	九州沖縄支部	平成29年度支部大会	Ⓟ	—	福岡市	85巻4,7号
平成29年11月7日	関東支部	第68回支部大会	Ⓟ	—	千葉市	85巻7号
平成29年11月9,10日	東北支部	平成29年度総会・第59回支部研究発表会・第49回支部研修会・第39回地方講習会	Ⓟ	—	盛岡市	85巻7号
平成29年11月16,17日	農地保全研究部会	第38回研究集会	Ⓟ	水田転作と農地保生(案)	福山市ほか	85巻5巻

## 公益社団法人農業農村工学会第50回定時総会の報告

- 日時 平成29年5月26日(金)14:00～14:45
- 場所 農業土木会館2階A会議室
- 代議員現在数及び定足数 現在数104名 定足数53名
- 出席代議員数 84名(内、出席8名、書面により議決権を行使した代議員44名、委任状により議決権を代理行使した代議員32名)

## 5. 定足数の確認等

総務部長が、定款第21条に基づき定足数の充足による本定時総会の成立を確認した。

## 6. 出席役員

久保成隆会長、林田直樹副会長、小泉健専務理事、荻野寿一監事、森丈久監事

## 7. 議長の選出

久保会長が仮議長となり、水見洋代議員を全員一致で議長に選出した。

## 8. 議事録署名人の選出

議長が議事録署名人2名の選出について諮ったところ、吉田修一郎、長坂貞郎の両代議員を全員一致で選出した。

## 9. 議事

## 決議事項

## (1) 議案—1 平成28年度事業報告

専務理事から同議案について説明があり、事業計画に掲げた事項が遂行された実績を確認し、審議の結果、提示案どおり、全員一致で可決した。

## (2) 議案—2 平成28年度決算(案)

専務理事から同議案について、財務諸表をもとに公1調査研究等事業会計、公2技術推進事業会計及び法人会計の説明があった。この際、森丈久監事から平成28年度事業報告及び決算についてその内容を監査した結果、適正正確であるとの報告があった。審議の結果、提示案どおり、全員一致で可決した。

## (3) 議案—3 名誉会員の推挙

専務理事から同議案について、12名の方の名誉会員推挙の説明があった。審議の結果、提示案どおり、全員一致で可決した。

## 報告事項

## (1) 報告事項—1 平成29年度事業計画について

専務理事から平成29年度事業計画について説明があった。

## (2) 報告事項—2 平成29年度予算について

専務理事から平成29年度予算について説明があった。議長は、以上をもって議案の審議等を終了したので、14時45分議事の終了を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

平成29年5月26日

公益社団法人農業農村工学会第50回定時総会

議長 水見 洋

署名人 吉田修一郎

署名人 長坂 貞郎

### 農業農村工学会代議員選挙結果について

(公社) 農業農村工学会 会員各位

公益社団法人農業農村工学会  
会長 久保 成隆

平成 29 年 5 月 29 日に実施した代議員選挙の結果、下記の名簿のとおり代議員として選出されたので、代議員選挙規程第 11 条第 3 項の規定によりお知らせします。

記

公益社団法人農業農村工学会 代議員名簿

(任期：平成 29 年 5 月 30 日

～平成 31 年 5 月代議員選挙終了の日)

○所属支部：北海道支部

川端伸一郎, 宗岡 寿美, 日置 綾人, 瀧戸 淑章,  
細井 俊宏, 足立 一郎, 橋本 智史, 堀井 健次,  
加藤 聡

○所属支部：東北支部

佐々木長市, 森 淳, 颯田 尚哉, 近藤 正,  
富樫 千之, 奥山 武彦, 大内 毅, 前田 茂,  
蛭名 芳徳, 福崎 晴康, 千葉 匡, 伊藤 啓治,  
浅野 直明, 千葉 伸裕, 佐藤 暢芳, 高野 尚紀,  
保科 秀隆, 佐藤 純一, 菊地 和明

○所属支部：関東支部

奥田 透, 安部 伸治, 宮崎 敏行, 白谷 栄作,  
藤原 信好, 石川 英一, 根本 力, 南木 好樹,  
片山 茂, 林 淳一, 杉森 浩, 高橋 慎一,

松村 清久, 清水 一也, 所 弘志, 櫻井 正陽,  
山本 恵太, 水見 洋, 下舞 寿郎, 小島 信彦,  
前田 滋哉, 加藤 亮, 鈴木 純, 松岡 延浩,  
三原真智人, 大澤 和敏, 長坂 貞郎, 足立 泰久,  
吉田修一郎

○所属支部：京都支部

坂田 寧代, 西村 眞一, 岩間 憲治, 川島 茂人,  
木全 卓, 河端 俊典, 酒井 俊典, 一恩 英二,  
八丁 信正, 田中 龍太, 皆川 猛, 青山 卓二,  
坪谷 満久, 志村 和信, 古西 広, 木戸 敏浩,  
河瀬 精吾, 宮林 和男, 辻森 芳宜, 伊藤 哲生,  
西尾 吉生, 森井 喜博, 森脇 馨, 小林 健二,  
井賀 尚哉, 壺岐 宏, 谷 省治, 正井 登

○所属支部：中国四国支部

猪迫 耕二, 喜多威知郎, 柴田 俊文, 角道 弘文,  
松本 伸介, 太田 勝也, 島崎 俊宏, 田和 貢,  
堀田 忠弘, 高田 善雄, 鮎川 和文, 柏谷 隆弘,  
小山 輝己, 菊池 洋之, 松尾 祐輔

○所属支部：九州沖縄支部

登り 俊也, 鷲野 健二, 中野 恵子, 半田 英彦,  
中村 義光, 前田 健次, 西森 英敏, 加藤 正明,  
函師 郁夫, 堀 洋一郎, 大村 学, 凌 祥之,  
近藤 文義, 稲垣 仁根, 肥山 浩樹, 仲村渠 将,  
和田 憲二, 木原 泰信

### 平成 29 年度名誉会員の推挙について

平成 29 年 5 月 26 日に開催された第 50 回定時総会の推挙により、以下の皆様が新たに名誉会員とられました。これにより名誉会員の現在数は、277 名となりました。

・新規名誉会員（敬称略）

土谷富士夫, 山村 宗仁, 小林英一郎, 佐藤 準,  
三沢 眞一, 村島 和男, 早瀬 吉雄, 佐藤 達男,  
須田 康夫, 野村 謙治, 水見 昌樹, 藤井 弘章

### 研究部会長の交代について

平成 29 年 4 月 1 日付で下記研究部会長が交代しました。

記

農業水利研究部会

新部会長 松井 宏之（宇都宮大学農学部教授）

前部会長 中村 好男

### 平成 30 年度農業農村工学会賞候補の推薦について（再）

平成 30 年度の農業農村工学会賞（上野賞、沢田賞を除く）を、募集要項に則って、推薦書によりご推薦ください。

締切は、平成 29 年 10 月末日です。推薦書様式および授賞規程は学会ホームページをご参照ください。

平成30年度 農業農村工学会賞 募集要項

賞の種別	学術賞	奨励賞		優秀賞			
		研究奨励賞	技術奨励賞	優秀論文賞	優秀報文賞	優秀技術賞	優秀技術リポート賞
賞の趣旨	農業農村工学に関する学術または技術の進歩に貢献した創意ある優秀な業績	農業農村工学に関する研究業績	農業農村工学に関する計画、設計、施工、管理等の技術業績	農業農村工学に関する単独の論文業績	農業農村工学に関する単独の報文業績	農業農村工学に関する計画、設計、施工、管理等の単独の技術業績	農業農村工学に関する単独の技術リポート業績
賞の対象期間	平成24年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。ただし、その5カ年以内に発表したものと同一の課題については、それ以前に発表されたものも、一連の業績とすることができる。	平成26年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。ただし、その3カ年以内に発表したものと同一の課題については、それ以前に発表されたものも、一連の業績とすることができる。	平成26年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。ただし、その3カ年以内に発表したものと同一の課題については、それ以前に発表されたものも、一連の業績とすることができる。	平成28年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成28年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成27年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成24年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。
賞の対象業績	原則として本学会の刊行物に発表された論文、報文等とする。			原則として本学会の刊行物に発表された論文とする。	原則として本学会の刊行物に発表された報文とする。	原則として本学会の刊行物に発表された論文、報文等とする。主として現場調査資料、現場技術報告書とする。	原則として本学会の刊行物に発表された技術リポートとする。
受賞候補者	個人			個人または組織、団体			
推薦の方法	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。			正会員の自薦、他薦または学会誌・論文集の企画・編集委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。			

賞の種別	著作賞	教育賞	環境賞	歴史・文化賞	地域貢献賞	国際貢献賞	メディア賞	功労賞
賞の趣旨	原則として一般に市販されている図書の中で、農業農村工学に関する学術または技術を広く世に紹介することに顕著な貢献をなしたと認められる業績	農業農村工学教育、技術者の継続教育など資質の向上に寄与したと認められる活動で優れた業績	農業・農村の生産・生活環境の改善や生態系保全など、美しい環境の保全や創出において優れた計画および施工を行い、もしくは管理・保全活動を行った業績	農業農村工学に関する歴史・文化を広く紹介、あるいは研究分析した業績	農村地域社会の発展・活性化に貢献した業績	農業農村工学に関する学術・技術についての、国際的な交流・調査研究で優れた業績	農業農村工学を紹介したパンフレット、ビデオ作品、教材スライド、映画等	長年にわたる、地道な教育・研究または実務の積み重ねを通して、農業農村工学の学術または技術の進歩発展に多大な功労のあったと認められる者
賞の対象期間	平成19年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成24年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成27年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成24年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成24年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成24年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成27年10月から平成29年9月までに発表されたものとする。	平成29年度末に65歳以上に達している個人
賞の対象業績	一般の図書。ただし、ハンドブック・便覧の類の著書および翻訳書は対象としない。また、改訂版にあたっては全面改訂したもののみを対象とする。		本学会の刊行物または、関係する図書に発表されたもの。また、完工した建設物、維持保全管理活動等も対象とする。				農業農村工学に関連した作品を対象とする。	
受賞候補者	著者	個人または組織・団体				個人	個人または組織・団体	個人
推薦の方法	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。	正会員の自薦、他薦または技術者継続教育機構 CPD 運営委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。			正会員の自薦、他薦または国際委員会の推薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。推薦者は業績（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する（コピー可）を1部提出する（いずれも返却しない）。	正会員の自薦または他薦による。推薦者は推薦書により会長宛推薦する。
選考の方法	学会賞選考委員会において行う							
賞の決定	理事会において行う							
表彰	平成30年度農業農村工学会大会講演会において会長が授与する							
推薦締切	平成29年10月末日							
推薦書の提出先	〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 公益社団法人 農業農村工学会 学会賞選考委員会宛							

第41回「水の週間」水のワークショップ・展示会について（第2報）

「水のワークショップ・展示会」は例年同様「水の週間」のイベントの一つとして行われます。

今年も昨年までと同様に、農業農村工学会が農業用水展示実行委員会を組織し、関係団体の協力を得て、農業用水分野として展示の準備を進めております。昨年と同様に東京国際フォーラムで開催される丸の内キッズジャンボリーのイベントの一つとして出展します。

多くの方のご来場をお待ちしております。

記

1. 会期 平成29年8月15日（火）～17日（木）
2. 場所 東京国際フォーラム
3. 主催 国土交通省、東京都、水の週間実行委員会
4. 全体テーマ 水のハッピーデー～水について学ぼう～
5. 農業用水テーマ いのち育む農業用水
6. 展示内容

学生によるワークショップ、iPad アプリによるゲーム・クイズ、パネル展示、畑作物の実物展示、田んぼの生き物水槽など

**「2050年農業・農村の姿」ポスターの募集期間を7月31日まで延長します**

農業農村工学会では、「2050年農業・農村の姿」実行委員会を設けて、「2050年農業・農村の姿」を高校生、大学生、そして学会員を含む一般部門にわけて、ポスターを募集しています。広く各層から作品を募るため、募集期間を7月31日(月)まで延長します。

優秀な作品は、平成29年8月30日、日本大学生物資源科学

部(神奈川県藤沢市)で開催する大会講演会で表彰します。

2050年に向けてこれから牽引役となる高校生、大学生、社会人である若者の皆さん、あなたが実現したい農業・農村の姿のポスターを描いてみませんか。学会は若者の皆さんのさまざまなアイデアを待っています。

詳細は学会ホームページをご覧ください。

**サマーセミナー2017参加者募集! (第2報)**

**— 都市型農業を通してこれからの農業, 農業農村工学を考えよう (仮) —**

農業農村工学サマーセミナー実行委員会です! サマーセミナーは農業農村工学を学ぶ学生・若手研究者間の交流の活性化を目的とした学生主催のセミナー企画です。1997年から重ねて18回目となる今年は、関東開催であるという利点を活かし、「都市型農業を通してこれからの農業, 農業農村工学を考えよう」(仮)というテーマを設定しました。セミナーではグループディスカッション、現地見学や講演会、レクリエーションなど、参加者のみなさんが楽しんで交流できる企画を考えています。都市圏という一見農業とは縁遠い地で、「農業」とは、「都市型農業」とは何なのか、みんなで考えてみませんか?

他大学の学生と議論をしてみたい方、将来のキャリアを見据え人脈を広げたい方、あるいは進路について相談したい方など、どんな方でも大歓迎です。同じ農業農村工学を学ぶものとして、私たちが実現したい未来について一緒に考えましょう!

**1. 主催**

農業農村工学サマーセミナー実行委員会

- 東海林 光 (宇都宮大学大学院農学研究科)
- 今出和成 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)
- 崎川和起 ((株)三祐コンサルタンツ)
- 福田晃大 (九州大学大学院)
- 田中宣多 (京都大学大学院農学研究科)
- 辰野宇大 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 松本宜大 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 樋口慶亮 (東京農工大学大学院連合農学研究科)
- 小杉重順 (北海道大学大学院農学院)
- 前田 顕 (宮崎大学農学部)

**2. 日時** 平成29年8月31日(木)大会講演会終了後  
～9月2日(土)昼過ぎ

**3. 開催地 (予定)** 神奈川県内

**4. 対象** 学部学生・院生・若手研究者

**5. 参加費用 (予定)** 10,000円程度(宿泊、飲食代込)

**6. 参加申込み**

詳細・参加申込みについては以下の農業農村工学会サマーセミナーホームページにて随時公開予定です。

URL: <http://nsumsemi.wp.xdomain.jp/>

参加申込期間: 平成29年6月19日(月)～7月31日(月)

**7. 問合せ先**

E-mail: [n.n.summer.seminar@gmail.com](mailto:n.n.summer.seminar@gmail.com)

**8. 農業農村工学会 若手交流の会 in 湘南について**

農業農村工学会 若手交流の会(通称、若手会!)は農業農村工学を学ぶ学生、若手研究者、若手社会人の交流を目的とした学生主催の懇親会です。普段なかなか会わない他大学の学生、社会人とお話ししたり、食事などしながら交流してみませんか? 多くの皆様のご参加をお待ちしております!

参加申込みは以下の内容をご確認ください。

- (1) 開催日 平成29年8月30日(水)
- (2) 開催地 日本大学生物資源科学部  
本館B1階(スエヒロ)
- (3) 対象 学部学生・院生・若手研究者
- (4) 会費(仮) 3,000円(事前参加申込み:2,500円)
- (5) 参加申込み・問合せ

参加申込み、問合せ等は下記までE-mailにて、以下の①～⑤の内容を明記の上でお願いいたします。

- ①氏名(漢字・フリガナ), ②所属(大学・学部・学科),
- ③学年, ④連絡先(メールアドレス), ⑤当日の連絡先(電話番号)

農業農村工学会 若手交流の会若手会実行委員会:

日本大学大学院 内藤義樹、梶山直輝

E-mail: [wakatekai2017@gmail.com](mailto:wakatekai2017@gmail.com)

(6) 事前申込締切 平成29年8月23日(水)

**平成29年度「戦略的研究申請支援」の助成希望者募集について(再)**

農業農村工学分野における戦略的研究の推進を目的とし、下記取扱い内規によって、競争的研究資金獲得をめざす研究申請

書作成グループに助成を行います。助成総額は、60万円程度(原則1件20万円以内)です。

本年度の申請締切は平成29年9月15日(金)です。助成金を希望される方は期限までに、必要事項を記入した申請様式(末尾参照)で研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長あてにお申し込みください。

試験研究機関、行政、大学、民間等からの応募を歓迎いたします。

#### 「戦略的研究申請支援」の助成金取扱い内規

1. 申請：学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上、「戦略的研究申請支援」の助成金の申請ができる。なお、申請者の資格は、後述の「4. 助成対象」に示すとおりとする。
2. 認定：研究委員会戦略的研究推進小委員会は、「研究申請書作成グループ」の申請内容(申請の意義、準備の状況、将来の展望など)を検討して、助成するグループと金額を決定する。なお、この決定内容は学会長に報告する。
3. 助成：研究委員会戦略的研究推進小委員会は認定した「研究申請書作成グループ」に対し、「研究連絡費」を助成する。ただし、その助成は原則として1年とする。可否の認定に当たっては、科学研究費補助金以外の競争的資金に応募を予定しているグループを優先する。
4. 助成対象：申請できる条件(助成対象)は次のとおりとする。

る。

- (イ) 具体的な研究テーマをもち、それを研究することが戦略的な意味で農業農村工学の意義と役割を対外的に示すことに貢献しうること。
- (ロ) 「研究申請書作成グループ」には代表者(本学会員)をおき、構成員(本学会員以外も可)は原則として3名以上、それらの所属する機関が2つ以上あること。

5. 活動報告：助成金を受領した「研究申請書作成グループ」は、助成金受領後1年以内に活動報告として、作成した申請書とその提出および審査の経過を、戦略的研究推進小委員会に提出すること。提出された活動報告は戦略的研究推進小委員会のデータベースに登録され、必要に応じて学会の研究申請支援活動に役立てられる。

#### 「戦略的研究申請支援」の助成金申請様式

締切：平成29年9月15日(金)

申込先：研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長あて

E-mail：tkiku@jsidre.or.jp

必要記載事項：

- (1) WG名(または部会名) (2) 代表者名・所属
- (3) 参画者名・所属 (4) 研究テーマ名(仮)
- (5) 研究の目的と内容(500字程度)
- (6) 研究資金申請応募先(予定)

### 「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い

農業農村工学会は、農業農村工学の学術・技術の発展を通じて、わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし、昨今の日本農業はかつてない厳しい環境におかれ、農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり、東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには、若い世代の育成、新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は、これら諸活動に資するものとして、平成3年4月に学術基金を創設し、これに上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し、さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金は今後、学生会員のインターンシップの助成にも対象を拡げる予定です。

個人会員一口 5,000円(何口でも可)

法人会員一口 50,000円(何口でも可)

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名 (社) 農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

### 学生会員入会時の特典について

農業農村工学会では、従来から行っていた入会時特典のハンドブック3点セット(ハンドブック+用語事典+初年度会費)に加えて、次の入会時特典を新たに設けることといたしました。

これから学生会員として入会をお考えの学生の皆様、是非ご利用ください。

①ハンドブック3点セット(従来)

(ハンドブック+用語事典+初年度会費)

学部生 17,000円(15,750円)

大学院生 19,500円(16,750円)

②必携3点セット(新設)

**(必携+用語事典+初年度会費)**

学部生 7,000円 (5,750円)  
大学院生 10,000円 (7,250円)

**③ 2点セット (新設)**

**(用語事典+初年度会費)**

学部生 5,000円 (3,750円)  
大学院生 8,000円 (5,250円)

( )内の金額は、10月1日以降入会の場合。

なお、用語事典を購入した学生会員に限り、用語事典の内容をスマートフォンなどで閲覧可能なサービスを提供いたします。

ハンドブック：改訂七版農業農村工学ハンドブック  
必携：資格試験のための農業農村工学必携（第二版）  
用語事典：改訂5版農業土木標準用語事典

問合せ先 (公社) 農業農村工学会 図書係

E-mail : [suido@jsidre.or.jp](mailto:suido@jsidre.or.jp)

**学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集 !!**

農業農村工学会では、学会員であり、かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者の方がCPD単位を在宅のまま取得できる方法として、平成17年10月号より農業農村工学会誌「水土の知」誌上で「CPD通信教育」を実施しています。学会員であり、かつCPD個人登録者は、どなたでも無料で参加することができ、通信教育分【ac】として年間最大24cpdを取得する大きなチャンスとなっています。この機会に、是非CPD通信教育へご参加ください。

なお、解答内容については技術者倫理に則り、自らの責任で送信してください。

**1. 参加資格**

農業農村工学会の個人会員であり、かつ技術者継続教育機構のCPD個人登録者

**2. 出題内容と出題方法**

3カ月前に発行された農業農村工学会誌に掲載された報文等の事実的内容から、択一式で毎月10問を出題

**3. 解答方法**

Web画面に正解と思う番号を入力し、送信（事前にWeb利用登録が必要）

**4. 解答期限**

問題掲載月の月から翌月末日まで

(例：学会誌7月号掲載の問題は8月末日が解答期限)

**5. 取得できるCPD単位**

10問正解で2cpdを、7~9問正解で1.5cpdを自動登録（正解数6問以下の場合はCPD単位の付与はされません。）

**6. 自動登録の時期**

取得したCPD単位は、解答期限最終日の翌月初旬に自動登録されます。

**平成30年の学会誌表紙写真の募集**

学会誌企画・編集委員会では、平成30年発行の学会誌も引き続き皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。趣旨をご覧のうえ、ご応募ください。

**趣 旨**

わが国において、土や水を取り扱う技術の歴史は農業とともに発展してきました。農業の発展の過程で造られてきた幾多の農業施設は、農地を形成し、水を送り、物と人をつなぎ、連綿と我々の生活を支えてきました。これらの農業施設のいくつかは、長年の風雨にさらされながらも、機能を保ち続け、その地域の自然や文化に溶け込み、農村の景観を形成する重要な構成要素となっているものもあります。人々の悲願をかなえ続けてきたこれらの農業施設や構造物は、地域の人々によって大切に守り、管理された結果、四季折々に機能美と景観美を放ち続けているはずで、それらは、農村地域のみならず、都市の景観の中にも見つけることができるでしょう。

農業農村の現場で活躍される皆さま、日ごろ何気なく見過ごしているかもしれない農村地域における農業施設・構造物とそれを含む景観の美しさを再評価いただいて、忙しい業務の合間にも、足を止め、手を休めて写真として記録していただき、広

く一般の方々にご紹介ください。

記

**1. テーマ**

「農村地域における農業施設・構造物：先人たちの技術と苦勞が垣間見える造形美」

**2. 対象巻号** 学会誌第86巻（平成30年1~12月号）

**3. 写真の種類**

応募写真はデジタル、フィルムを問わず六つ切り以上四つ切り以下のサイズにプリントしたものとします。（四つ切りワイド、A4サイズも含まれます）。なお、六つ切りは203×254mm、四つ切りは254×305mm、同ワイドは254×356mm、A4は210×297mmです。カラー、モノクロは問いません。採用となった写真についてはデジタル写真の場合に限り画像データを送っていただきます。この場合の画像データ量は一点につき20MB以下とし、形式はJPEGのみに限定します。

**4. 枚数**

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

**5. 締切** 夏季 平成29年9月30日

※応募時、過去1年以内に撮影したものに限りです。

6. 審査 審査委員会（編集委員と写真家）で選考します。  
7. 結果発表

学会誌第86巻第1号で採用作品と掲載号を発表し、採用作品は平成30年度全国大会会場内でパネル展示します。

8. 「Cover History (表紙写真由来)」執筆および写真使用料について

採用作品の応募者には学会誌掲載の「Cover History (表紙写真由来)」をご執筆いただきます。ご執筆の詳細は、採用決定時に応募者に直接お知らせします。また、採用作品には規定の写真使用料（1点につき1万円）をお支払いします。なお、すべての応募作品が不採用となった応募者には記念品をお送りします。

9. 著作権・出版権

採用作品の使用権および出版権は（公社）農業農村工学会に属します。

10. 注意点

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙

写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には、農業施設・構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれること（花などの情緒物に埋没しないこと）が採用の条件となります。

11. 応募方法および応募先

学会ホームページより、応募票をダウンロードし、タイトル、郵便番号、住所、氏名、勤務先、電話番号、E-mail アドレス、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、対象物の固有名称（固有名称）、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付してお送りください。

なお、原則として、応募写真は返却いたしません。

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

（公社）農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会「表紙写真公募」係

TEL：03-3436-3418 FAX：03-3435-8494

E-mail：henshu@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

### 自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要

項」,「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿ください。

### 学会誌第85, 86巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A4判 1,500字以内)
第85巻第8号 “農業農村工学”って何だろう？(仮)	公募なし
9号 土地改良法改正を問う(仮)	公募終了
10号 進化する畑作農業(仮)	公募終了
11号 地域・事業コーディネートを発揮した新たな農業農村の創生(仮)	平成29年7月14日
12号 「農村協働力」を活かした防災・減災力の強化(仮)	平成29年8月15日

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌企画・編集委員会あてにお寄せください。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り4ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

す。

送付先 〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4

（公社）農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会あて

TEL：03-3436-3418 FAX：03-3435-8494

E-mail：henshu@jsidre.or.jp

### 第85巻第11号テーマ「地域・事業コーディネートを発揮した新たな農業農村の創生」(仮)

「新たな土地改良長期計画」や「農業農村整備に関する技術開発計画」の策定に引き続き5月19日の参議院本会議で「改正土地改良法」が可決、成立しました。こうした農業農村工学の新展開は、農業農村構造の変化やICTなどの新たな情報技術の進歩に合わせて、関連技術の深化と一層の分野拡大、そして、その担い手である農業農村工学技術者の活動領域を広げていくことを社会が求めています。

「農業農村工学」は、「水」と「土」を技術対象の中心に据え

て、農業生産性の向上を含む農業や農村の振興のための多岐多岐の技術の応用の総合体としての多様性を有しているだけでなく、工学的技術に加えて管理運用技術、関係者の合意形成などの社会的調整技術も必要としているところに、学のアイデンティティがあります。また、関連技術の現地への普及や社会実装の多くは、国および県などの地方公共団体の農業農村整備事業などのプロジェクトを通じて行われます。技術の新展開のもとでは、水利用や農地利用を媒介にした地域活性化戦略の構築



や地方創生に資する地域資源保全活用、ソフト・ハード技術の最適な組合せ技術などの事業プロセスモデルやビジネスモデルを確立していくことが重要です。

本小特集では、農業農村工学技術（者）の「地域・事業コーディネート力を発揮した新たな農業農村の創生」をテーマに、技術者の潜在能力を発揮した新たな学術の展開方向を示すことを目的として、①地域の「水」と「土」にこだわる農業農村工

学技術者の地域・事業コーディネート力による地域活性化の取組事例、②地域個性を踏まえたオーダーメイドの技術実装例（事業の立案・計画から実施までを俯瞰した事業事例）、③多様な技術を統合した農業農村インフラ維持管理のビジネスモデルの発案やそのプロセスなど、新たな技術と事業の発展につながる報文を募集します。

## 85 巻 12 号テーマ「『農村協働力』を活かした防災・減災力の強化」（仮）

近年、自然災害が頻発化、激甚化してきており、昨年は熊本地震、北海道・東北豪雨、鳥取県中部地震など、集中豪雨や地震により各地で農業・農業用施設に甚大な被害が生じました。さらに、今後、南海トラフ巨大地震や首都直下地震など、東日本大震災を上まわる規模の自然災害の発生も懸念されています。

他方、人口減少・高齢化や農業構造の変化などが進む農村地域では、農村協働力が脆弱化し、共同活動を営んできた集落の弱体化、施設の管理や防災の担い手の減少により、地域の防災・減災力の低下が都市部より深刻化しています。

このような中、平成 28 年 8 月 24 日に閣議決定された新たな土地改良長期計画では、「社会資本の継承・新たな価値の創出と農村協働力の深化」を基本理念に掲げ、政策課題の一つである「強くてしなやかな農業・農村」では、農業水利施設の老朽化対策や耐震化等のハード対策のほか、農村協働力を活用したソフト対策を組み合わせ、地域の防災・減災力の向上を促進すると

しています。

頻発化・激甚化する自然災害に対し、時間や費用を要するハード対策だけでは限界があり、「想定外」、「最悪の事態」を想定して地域のコミュニティを活用した防災・減災活動などのソフト対策の推進が一層必要となっています。そのためには、農村協働力の維持・向上を図りつつ、被災状況の迅速かつ的確な把握、防災情報の伝達体制の整備、地域住民の防災意識の向上、ハザードマップの作成、ダムやため池などの基幹水利施設のモニタリング体制の構築や災害時のリスク評価、迅速な復旧活動、業務継続計画（BCP）の策定などに係る知見やノウハウの蓄積と技術開発が重要となります。

そこでこれら『農村協働力』を活かした防災・減災力の強化に関する取組事例や課題・知見、調査・研究について、学会誌掲載の報文として提供していただきたく、民間を含む会員の皆様から広く原稿を募集いたします。

### 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2016 年 7 月から 2018 年 6 月までの編集事務局について

国際水田・水環境工学会（International Society of Paddy and Water Environment Engineering : PAWEES）では、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を発行しています。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されていますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。

水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としており、掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑（水配分管理、水収支、灌漑施設、栽培管理）
- ② 排水（排水管理、排水施設）
- ③ 土壌保全（土壌改良、土壌物理）
- ④ 水資源保全（水源開発、水文）
- ⑤ 水田の多面的機能（洪水調節、地下水涵養など）
- ⑥ 生態系の保全（水生、陸生動植物の生態系）
- ⑦ 地域計画（農村計画、土地利用計画など）
- ⑧ バイオ環境システム（水田農業と水環境、土壌環境、気

象環境）

- ⑨ 水田の多目的利用（田畑転換、施設園芸）
- ⑩ 農業政策（農村振興、条件不利地の支援策など）

また、世界 14 カ国から Editor（20 名）を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名な Springer 社からの刊行です。掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の 4 種類です。

一方、2016 年 7 月から、新たな編集体制をスタートさせました。詳細は以下のとおりです。

#### 編集体制

- ・ Editor-in-Chief : Dr. Takao MASUMOTO (Japan)  
Institute for Rural Engineering, NARO (National Agricultural Research Organization), Tsukuba, Japan
- ・ Editors 14 カ国から 20 名
- ・ Advisory Editing Board 29 名
- ・ Chief Management Editor  
Dr. Yu-Pin LIN  
Department of Bioenvironmental Systems Engineering,

National Taiwan University, Rep. of China  
 • **Managing Editors**  
**Dr. Jin-Yong CHOI**  
 Institute of Green-Bio Science and Technology, Seoul  
 National University, Korea  
**Dr. Chihhao FAN**  
 Department of Bioenvironmental Systems Engineering,  
 National Taiwan University, Rep. of China  
**Mr. Nobuyoshi FUJIWARA**  
 Rural Development Division, Japan International  
 Research Center for Agricultural Science (JIRCAS),  
 Japan  
**Dr. Kimihito NAKAMURA**  
 Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan  
**Dr. Andrew WHITAKER**  
 Graduate School of Science and Technology, Niigata  
 University, Japan  
**編集事務局 (2016年7月から2018年6月まで) :**  
 • **Dr. Yu-Pin LIN**  
 Distinguished Professor, Ph.D.  
 Department of Bioenvironmental Systems, Engineering,

National Taiwan University  
 No.1, Sec. 4, Roosevelt Road, Taipei 10617, Taiwan,  
 Rep. of China  
 TEL : + 886-2-3366-3467, + 886-2-2368-6980  
 FAX : + 886-2-2368-6980  
 E-mail : yplin@ntu.edu.tw  
**投稿先** : オンライン投稿 (<http://pawe.edmgr.com/>) になり  
 ます。  
**投稿資格** : 筆者が農業農村工学会員でPWE誌の購読者である  
 こと。  
**投稿要領等** : <http://pawe.edmgr.com/>に詳細を記載してい  
 ます。  
**発行スケジュール** : 年4回 (オンラインジャーナル)  
**購読料** : 正会員・名誉会員 12,343 円  
 学生会員 (院生含む) 8,743 円  
 非会員の方は購読できません。購読を希望される方は、まず  
 農業農村工学会にご入会の上、お申し込みください。  
 なお、オンラインジャーナルへの完全移行に伴い、2016年度  
 からの購読はパスワードによる Web 上での閲覧になります。  
 冊子体の配布はありません。  
**申込先** : 農業農村工学会事務局

平成 29 年度東北支部総会・第 59 回東北支部研究発表会ならびに  
 第 49 回東北支部研修会・第 39 回地方講習会の開催について (第 1 報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 期 日 平成 29 年 11 月 9 日 (木), 10 日 (金) [第 2 日目] 11 月 10 日 (金)
2. 会 場 アイーナ いわて県民情報交流センター  
 〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通 1-7-1  
 TEL : 019-606-1717  
 ホテルルイズ  
 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通 7-15  
 TEL : 019-625-2611
3. プログラム概要 (案)  
 [第 1 日目] 11 月 9 日 (木)  
 (1) 支部総会・研究発表会 [会場: アイーナ]  
 (2) 情報交換会 [会場: ホテルルイズ]
4. 研究発表の申込み  
 (1) 申込み・原稿受付期間  
 平成 29 年 8 月 21 日 (月) ~ 9 月 25 日 (月)  
 (2) 申込み・問合せ先  
 〒020-8550 岩手県盛岡市上田 3-18-8  
 岩手大学農学部食料生産環境学科 原料まで  
 Email : hkoji@iwate-u.ac.jp
5. その他  
 詳細は本誌 8 月号に掲載予定です。

第 68 回関東支部大会 (講演会・講習会等) の開催について

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 主 催 (公社) 農業農村工学会関東支部  
 後 援 農林水産省関東農政局, 千葉県  
 http://chibaken-kaikan.or.jp/  
 ・受付・開会式・授賞式 大ホール
2. 支部大会 (講演会・講習会等)  
 (1) 日時 平成 29 年 11 月 7 日 (火) 10 : 30 ~ 17 : 00  
 (受付 9 : 30 ~)  
 (2) 会場 千葉県教育会館  
 〒260-0013 千葉県千葉市中央区 4-13-10  
 TEL : 043-227-6141  
 (3) 会場への案内  
 ○徒歩  
 JR 千葉駅…20 分 JR 本千葉駅…12 分  
 京成千葉中央駅…12 分

- 千葉都市モノレール（県庁前）…6分  
 ○バス（千葉駅から所要時間5分+徒歩3分）  
 中央バス②番乗り場（白幡行）中央4丁目下車  
 小湊バス③番乗り場（白幡行）中央4丁目下車  
 京成バス⑦番乗り場（大学病院行）中央4丁目下車

3. 情報交換会

- (1) 日時 平成29年11月7日（火）18:00~20:00  
 (2) 会場 プラザ菜の花  
 〒260-0854 千葉県千葉市中央区長洲1-8-1  
 TEL: 043-222-8271  
<http://www.hotelplaza-nanohana.com/>

4. 参加申込方法

- (1) 申込方法  
 「第68回農業農村工学会関東支部大会申込書」に必要な事項を記入し、所属機関ごとに取りまとめのうえ、E-mail または FAX、郵送にてお申し込みください。
- (2) 申込期限 平成29年8月31日（木）
- (3) 参加費  
 ・講演会と講習会 2,000円（講演発表者（共同発表者は除く）は無料）  
 ・情報交換会 3,000円（講演発表者（共同発表者は除く）および学生は1,000円）
- (4) 昼食  
 昼食を希望される方は、お弁当（1,000円）を用意いたしますので、参加申込みと同時に申し込みください。ただし、講演発表者（共同発表者除く）は無料です。
- (5) 参加費等の納入方法  
 参加申込みと同時に全額前納してください。なお、キャンセル、変更については、9月30日以前の申出に限りまして、振込手数料等の実費を差引き返金いたします。それ以降のキャンセルにつきましては応じかねますので、ご了承のほどよろしくお願いたします。  
**【留意事項】** 振込手数料は、各自にてご負担願います。  
**【振込先】**  
 ゆうちょ銀行 千葉県庁内郵便局  
 店番号: 058 口座番号: 普通 8779361  
 口座名義: 農業農村工学会関東支部運営委員会  
 (ノウギョウノウソンコウガクカイカントウシブタイカイウンエイインカイ)  
 ※振込元が申込書と照合できるように、氏名・所属の順で必ず記入願います。
- (6) 申込先および問合せ先（事務局）  
 千葉県農林水産部耕地課基盤整備室設計担当  
 飯田、武田  
 〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1  
 TEL: 043-223-2847 FAX: 043-225-3789  
 E-mail: noukou\_kanto@mz.pref.chiba.lg.jp

第68回農業農村工学会関東支部大会（講演会・講習会等）参加申込書

所 属		電話番号			
申込者氏名		FAX 番号			
E-mail					
所属所在地	〒				
ふりがな 氏 名	区 分	参 加 者		昼 食	合計額
		講演会・ 講習会	情報交換 会		
	発表者 共同発表者 学 生 一 般	参加の有 無を○× で記載	参加の有 無を○× で記載	昼食の有 無を○× で記載	金額を記 入
例) 関東太郎	一般	○	○	○	6,000円
合 計					円

(7) 申込様式

申込様式は、千葉県農林水産部耕地課ホームページ上に掲載してありますので、ファイルをダウンロードしてご利用いただくことも可能です。  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouchi/nnkantotaikai/documents/youshikil.xls>

5. 講演発表者申込方法

- (1) 申込方法  
 農業農村工学会ホームページの支部のページ (<http://www.jsidre.or.jp/shibu/>) の関東支部の欄にある「支部講演会投稿票」に必要な事項を記載し、4.(6)の事務局あてにメール送信してください。受領確認はメールで行います。
- (2) 申込期限 平成29年8月4日（金）
- (3) 原稿締切 平成29年8月25日（金）
- (4) 原稿枚数 2枚または4枚
- (5) 申込先および問合せ先 4.(6)に同じ
- (6) 講演時間 質疑応答を含め15分程度
- (7) その他  
 幅広い分野からの応募を歓迎いたします。  
 講演概要（200字）は学会誌や学会ホームページなどで公表させていただきます。  
 講演会発表者（共同発表者除く）の参加費・昼食については無料です。情報交換会は1,000円です。  
 4.の参加申込みにて昼食および情報交換会について申込みをお願いします。

6. その他

- ・ 宿泊の斡旋・手配は行いませんので、各自での対応をお願いします。
- ・ 詳細は、千葉県農林水産部耕地課ホームページをご確認ください。  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouchi/nnkantotaikai/index.html>

## 第72回中国四国支部講演会ならびに第41回地方講習会の開催について(第3報)



技術者継続教育機構認定プログラム申請中

## 1. 日程

## (1) 支部講演会

開催日：平成29年10月26日(木) 10:00~17:30

会場：とくぎんトモニプラザ

〒770-0851 徳島県徳島市徳島町城内2-1

TEL: 088-625-3852 FAX: 088-625-8356

## プログラム

受付開始 9:30~

開会式 10:00~10:15

支部表彰式 10:15~10:25

特別講演 10:40~12:00

※演題等は調整中。決定次第、中国四国支部ホームページでお知らせします。

&lt;昼食 12:00~13:00&gt;

一般公演 13:00~17:30

第1会場 3階 大会議室

第2会場 4階 第2会議室

第3会場 6階 レクリエーションホール

## (2) 情報交換会

開催日：平成29年10月26日(木) 18:00~20:00

会場：ホテル千秋閣

TEL: 088-622-9121

## (3) 地方講習会

開催日：平成29年10月27日(金) 9:00~12:00

会場：とくぎんトモニプラザ(3階 大会議室)

## プログラム

受付開始 8:30~

講習会 9:00~11:40

閉会式 11:45~12:00

## 2. 講演申込み

## (1) 講演原稿

講演原稿は、図、表、写真などを含めて1課題3ページ以内とします。

投稿者は、農業農村工学会ホームページの支部のページ(<http://www.jsidre.or.jp/shibu/>)に掲載している講演原稿の書き方に従って原稿を作成し、原稿をPDFにしたファイルと投稿票(前記支部のページからダウンロードできます)をメールにより下記の講演申込先までお送りください。その際、メールの件名は「中国四国支部講演会投稿」としてください。受領確認はメールで返信を行います。なお、発表時間や発表方法などについての連絡をとる場合がありますので、講演者(○印)の方は必ず連絡先メールアドレスをお書きください。

## (2) 講演資格

発表者のうち、少なくとも1名は学会員であることが

必要です。

## (3) 講演方法

個人発表とし、講演補助としてプロジェクター、パソコン、パワーポイントを準備します。

## (4) 講演時間

1課題につき15分程度です。

## (5) 講演要旨集

申込みのあったすべての原稿を講演要旨集に収録します。なお、印刷はモノクロとなります。

## (6) 原稿の締切

平成29年9月8日(金) 必着をお願いします。

## (7) 講演会発表原稿提出窓口・問合せ先

岡山大学大学院環境生命科学研究科 柴田俊文

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

TEL: 086-251-8154 FAX: 086-251-8881

E-mail: tshibata@cc.okayama-u.ac.jp

## 3. 参加申込み方法

## (1) 参加申込書

参加申込みについては、以下の申込様式に従い、所属機関ごとにまとめてメールにより下記(2)までお送りください。その際、メールの件名は「中国四国支部講演会申込み」としてください。なお、様式は、学会ホームページの支部のページ(<http://www.jsidre.or.jp/shibu/>)からダウンロードできます。

## 【申込様式】

第72回中国四国支部講演会ならびに第41回地方講習会申込書

所属機関名:	_____
所在地:(〒 _____)	_____
連絡者名(ふりがな):	_____
電話番号:	_____
FAX番号:	_____
E-mailアドレス:	_____

所属	氏名	ふりがな	講演希望	【10月26日】			【27日】	備考
				講演会参加費	昼食	情報交換会	地方講習会	
				一般: 2,000円	一般: 1,000円	一般: 5,000円	一般: 2,000円	
				学生: 1,000円	学生: 1,000円	学生: 5,000円	学生: 1,000円	
合計								

## (2) 講演会・情報交換会・講習会申込み窓口・問合せ先

徳島県農林水産部農林水産基盤整備局農山漁村振興課  
太田・蔵本・立石

〒770-8570 徳島市万代町1-1

TEL: 088-621-2452 FAX: 088-621-2859

E-mail : nousangyosonshinkouka@pref.tokushima.jp  
 ※参加窓口と原稿提出窓口を別にしていますので、ご  
 注意ください。

- (3) 申込み締切日 平成 29 年 9 月 8 日 (金)
- (4) 参加費等
- 1) 講演会参加費【一般：2,000 円、学生：1,000 円】  
 ※講演者をはじめ、講演会に参加される方はお支払  
 ください。
  - 2) 昼 食 代【一般：1,000 円、学生：1,000 円】
  - 3) 情報交換会【一般：5,000 円、学生：5,000 円】
  - 4) 地方講習会【一般：2,000 円、学生：1,000 円】
- (5) 参加費等の納入方法
- 原則として、参加申込みに併せて次の銀行口座に全額  
 前納でお振込みをお願いします。振込手数料については、  
 振込人負担をお願いします。
- また、振込み元がわかるように、所属・氏名等は必ずご

記入ください。

なお、振込み後の参加費等の返金については、原則応じ  
 られませんのでご注意ください。

【振込口座】

- 銀行名：阿波銀行 県庁支店
- 店番号：104
- 口座番号：(普通) 1668900
- 名義人：農業農村工学会中国四国支部徳島県実行委員  
 会 事務局 会計 太田隆久  
 (ノウギョウノウソクコウガクカイチュウゴ  
 クシコクシブトクシマケン ジッコウイ  
 ンカイジムキョク カイケイ オオタタカ  
 ヒサ)

(6) 宿泊案内

宿泊の斡旋・手配等はいりませんので、各自でのご対応  
 をお願いいたします。

平成 29 年度九州沖縄支部大会 (第 98 回講演会・講習会・シンポジウム・現地見学会)  
 の開催について (第 2 報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 日 時

- 平成 29 年 11 月 1 日 (水)
- 9 : 30 ~ 17 : 00 開会式・支部賞授賞式・シンポジウム・  
 講演会
- 18 : 00 ~ 20 : 00 情報交換会
- 平成 29 年 11 月 2 日 (木)
- 9 : 30 ~ 11 : 30 講習会
- 12 : 30 ~ 17 : 30 現地見学会 (朝倉地域コース)

- 第 2 会場 (2 階 14 号会議室)
- 第 3 会場 (3 階 12 号会議室)
- 第 4 会場 (3 階 10・11 号会議室)
- ⑦ 18 : 00 ~ 20 : 00 情報交換会  
 (2 階 ガスホールホワイトエ)
- 情報交換会の中で、ポスター賞授賞式および交流会を行  
 います。

2. 会 場 (開会式・支部賞授賞式・シンポジウム・講演会・  
 講習会・情報交換会)

パピヨン 24 (<http://www.papillon24.jp/>)  
 〒890-0055 福岡市博多区千代 1-17-1 3 階  
 TEL : 092-633-2222 FAX : 092-633-2299  
 (JR 吉塚駅より徒歩 15 分、地下鉄：「千代県庁口」4 番出口と  
 直結)

(2) 11 月 2 日 (木) 講習会・現地見学会

- ① 8 : 30 ~ 受付
- ② 9 : 00 ~ 11 : 30 講習会 (2 階 ガスホール)  
 テーマ：設計基準 計画「暗きょ排水」基準書につい  
 て ほか
- ③ 12 : 30 ~ 17 : 30 現地見学会 (朝倉地域コース)  
 集合時間：12 : 30  
 集合場所：福岡県庁正面玄関前  
 予定コース：福岡県庁→山田堰《世界かんがい施設遺産》  
 →朝倉三連水車《日本最古の農業用用水車》→堀川水路《疏水百選》→博多駅→  
 福岡県庁  
 ※途中休憩あり。現場状況等により見学地  
 が変わることがあります。

3. プログラム (予定)

- (1) 11 月 1 日 (水) 開会式・支部賞授賞式・シンポジウム・  
 講演会・情報交換会
  - ① 8 : 30 ~ 受付
  - ② 9 : 30 ~ 10 : 00 開会式 (2 階 ガスホール)
  - ③ 10 : 00 ~ 10 : 20 支部賞授賞式 (2 階 ガスホール)
  - ④ 10 : 30 ~ 12 : 00 シンポジウム (2 階 ガスホール)  
 テーマ：「最新のストマネ診断法」(予定)
  - ⑤ 12 : 00 ~ 13 : 00 講演会【ポスターセッション】  
 (2 階 ガスホールホワイトエ)
  - ⑥ 13 : 00 ~ 17 : 00 講演会【オーラルセッション】  
 第 1 会場 (2 階 ガスホール)

4. 参加費

	講演会	講習会	現地 見学会	昼食 (1 日)	昼食 (2 日)	情報 交換会
一般料金	6,000 円	3,000 円	3,000 円	1,000 円	1,000 円	4,000 円
学生料金	3,000 円	2,000 円	2,000 円	1,000 円	1,000 円	3,000 円

※ 1 シンポジウムの参加費は無料です。

## ※2 参加費内訳

講演会：講演集代6,000円（学生3,000円）  
 講習会：テキスト代3,000円（学生2,000円）  
 現地見学会：資料代一律1,000円、バス代経費2,000円  
 （学生1,000円）

## 5. 講演会（オーラル・ポスター）の発表申込み・発表方法

平成29年度支部大会の運営および参加申込受付は、大会運営事務局（福岡県）が担当し、講演会の発表申込受付とプログラム編集は、九州沖縄支部事務局（佐賀大学）が担当します。

講演会の発表については、下記によりお申し込みください。

なお、オーラルセッションとポスターセッションの投稿方法は下記のとおり統一されています。また、学生会員（学部生・研究生・大学院修士）はオーラルセッションではなく、ポスターセッションにお申し込みください。

### (1) 投稿方法

「講演要旨（PDF形式）」と「講演会投稿票（MS-Excel形式）」の各ファイルを電子メールに添付してご投稿ください。電子メールの件名には「2017九州沖縄支部大会」と記載してください。

なお、講演要旨と講演会投稿票は、9.の支部ホームページからダウンロードしてご利用ください。

### (2) 講演要旨・講演会投稿票の書き方

9.の支部ホームページから、「講演会投稿票・講演要旨の書き方および電子投稿要領」をダウンロードし、ご参照ください。

また、過去15年以内に価値ある業績等を通算3回以上口頭で発表した会員に授与する研鑽賞は自己申告制ですので、受賞対象者になると思われる方は講演会投稿票に必要事項を記入して申告してください。

### (3) 投稿先（九州沖縄支部事務局）

E-mail：[tomh@cc.saga-u.ac.jp](mailto:tomh@cc.saga-u.ac.jp)  
 （佐賀大学農学部 原口）

### (4) 投稿締切

平成29年8月23日（水）

### (5) オーラルセッションの発表方法

1課題当たりの発表時間は質問・交代時間を含めて12分程度です。発表用機材としてパソコン（OS：Windows、ソフト：MS-PowerPoint2013）とプロジェクターを大会運営事務局で用意します。OHP・スライド用機材は用意することができませんのでご了承ください。

### (6) ポスターセッションの発表方法

原則として学生会員（学部生・研究生・大学院修士）を対象に募集します。ポスター賞を若干名に授与します。事前のポスター送付は不要です。

#### ① 用紙および枚数

1課題当たりA0判（縦）1枚以内

#### ② ポスターの掲示

11月1日（水）正午までに、発表者の責任で掲示用パネルにポスターを掲示してください。掲示用パネルのサイズは（高さ）2.1m×（幅）1.8mとなる予定です。

## 6. 支部大会参加申込方法

### (1) 参加申込み

参加申込書により所属ごとに取りまとめ、下記8.の大会参加申込受付（参加申込先）へ、FAXによりお申し込みください。

なお、講演会での発表希望者も参加申込みが必要です。参加申込書（MS-Excel形式）の作成は、下記9.の支部ホームページからファイルをダウンロードしてご利用ください。

### (2) 申込期限

平成29年8月30日（水） ※当日受付可

※会場の都合により定員になり次第、締め切りますので、早めにお申し込みください。

### (3) 参加費の納入

申込みを受け付けた後、1週間以内（土日を除く）に確認書、9月中に電子データにて請求書を送付いたしますので、内容を確認の上、同封の請求書記載の期限までにお振り込みください。

※振込後の参加費等の返還には応じられませんので、ご注意ください。

### (4) 宿泊について

大会運営事務局では宿泊の斡旋・手配は行いませんので、ご了承ください。

## 7. 大会運営事務局

農業農村工学会九州沖縄支部大会運営事務局  
 （事務局長：宮原）

（福岡県庁農林水産部農山漁村振興課技術管理係  
 担当：今村）

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7

TEL：092-643-3504 FAX：092-642-4605

E-mail：[imamura-d9520@pref.fukuoka.lg.jp](mailto:imamura-d9520@pref.fukuoka.lg.jp)

## 8. 大会参加申込受付（参加申込先）

JR九州旅行法人営業支店

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-23

JR九州1号ビル4階

TEL：092-474-8129 FAX：092-474-8194

## 9. 支部ホームページ

農業農村工学会ホームページの支部のページ：

<http://www.jsidre.or.jp/shibu/>

農村計画研究部会第39回現地研修集会の開催について（第1報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 主催 農業農村工学会農村計画研究部会  
 協賛 農村計画学会（予定）  
 後援 調整中
2. 日程 平成29年9月19日（火）
3. 場所 神奈川県横浜市および東京都狛江市、府中市
4. テーマ 都市圏農業基盤の保全と活用
5. 趣旨  
 平成27年には都市農業基本法が制定され、都市農業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進することが決定しました。また近年、都市部においても多面的機能支払い制度、援農ボランティアの積極的な活用が進められています。  
 そこで農村計画研究部会では、「都市圏農業基盤の保全と活用」をテーマとして、神奈川県横浜市の農業専用地区、東京都狛江市の都市農地保全支援プロジェクト対象地区、府中市の多面的機能支払活動地区を視察する現地研修集會を開催いたします。都市圏の農業基盤を保全する現場の実情と今後への期待などについて当事者から話を聞き、現地を目の当たりにし、学ぶことで、今後の都市圏での農業の将来像とその実現への手掛かりを得ようとするものです。  
 皆様方の積極的なご参加をお待ち申し上げます。  
 なお、本現地研修集會は、農業農村工学会大会講演会中に開催される企画セッション「都市圏農業基盤の保全と活用」と連動した企画です。
6. 行程（案）  
 10：00 JR新横浜駅集合  
 横浜市 農専地区の農地の見学および農家との意見交換
- 14：00 狛江市 都市農地保全支援プロジェクト対象農地（防災井戸設置）の見学および農家との意見交換
- 15：30 府中市 府中用水での多面的機能支払を受ける活動現場の見学
- 17：00 京王線府中駅 解散
7. 参加費・参加申込み  
 (1) 参加費（昼食代を含む）  
 一般7,000円程度、学生4,000円程度  
 当日集合場所にて現金で集金（現金払いが不能な方は、申込書にその旨ご記載ください。）  
 (2) 参加申込み  
 申込期限：平成29年9月1日（金）まで  
 申込方法：農村計画研究部会 Web ページ (<http://www.jsidre.or.jp/keikaku/>) より参加申込書ファイルをダウンロードし、申込先へ電子メールで送信  
 申込先：農村計画研究部会 現地研修集會担当  
 石川県立大学 山下良平  
 E-mail：r-yama@ishikawa-pu.ac.jp  
 変更・取り消し：平成29年9月11日（月）までに申込先へ連絡
8. その他  
 7月3日（月）より現地研修集會 Web ページを公開予定です。こちらで最新情報をご確認ください。

平成29年度腐食鋼矢板技術講習会の開催について（第1報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 主催 新潟大学農学部、新潟県土地改良事業団体連合会  
 後援 農業農村工学会
2. 日時 平成29年11月10日（金）13：00～17：00
3. 場所 新潟県土地改良事業団体連合会・講堂  
 〒950-8718 新潟県新潟市中央区長潟138番地  
<http://www.doren-niigata.or.jp/>
4. テーマ 鋼矢板水路の腐食実態と補修・補強対策
5. 講師 研究機関・大学・自治体・民間の研究者および技術者（予定）
6. 参加費 5,000円程度（テキスト代）
7. 申込み  
 以下の項目をご記入の上、E-mailにてお申し込みください。その際、標題欄には「鋼矢板講習会への参加申込」と明記してください。  
 ①参加者氏名、②所属機関名、③所在地、④TEL、FAX、E-mail アドレス、⑤CPD番号（登録希望の方）
8. 申込締切 平成29年10月31日（火）
9. 申込み・問合せ先  
 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050  
 新潟大学農学部気付 講習会事務局  
 申込受付担当：鈴木哲也  
 TEL & FAX：025-262-7395  
 E-mail：suzuki@agr.niigata-u.ac.jp
10. 宿泊  
 各自で手配していただきますようお願いいたします。
11. その他  
 ① 詳細は、学会誌次号に掲載予定です。  
 ② 本講習会では一般講演（5件程度）とポスター発表（10件程度）を募集します。